

令和6年度 事業所における自己評価総括表

(別紙4)

○事業所名	わくわくすまいる千葉みなと校 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	R7年1月14日		R7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	R7年1月14日		R7年2月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	R7年1月14日		R7年2月8日
○訪問先施設評価有効回答数	わくわくすまいる千葉みなと校 放課後等デイサービス回答参照		
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	・障害(知的・情緒など)別、発達状況に応じた個別支援(学習・トレーニング)を行っている。 ・集団活動では、運動遊びやゲーム、創作活動などを多様なプログラムを通して感覚統合、ルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。	・子ども同士の関りのなかで、子ども自身の自主性・主体性が導き出せるよう側面からの支援を行って行く。
2	専門職による支援	・理学療法士、作業療法士、心理的支援、5年以上の保育士など専門職による直接支援が提供できている。	・言語聴覚士など人材が確保できるまでの間、現状の専門職員が直接支援につながる支援に取り組んでいく。
3	保護者支援及び保育所等訪問支援	・保護者様からの相談(家庭や学校等での困り感)に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。 ・園や学校からのご要望に応じ、生活の基盤である園や学校を訪問し、支援を実施している。	・保護者のニーズに応じていけるよう、関係機関との連携を緊密に図っていく。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供ができていない。	・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。	・年間計画に研修等を組み込むなど、子どもに対する家族の対応力向上につなげていく。
2	地域の他のこどもとの交流の機会が少ない。	・近隣の園への協力要請を行うとともに、事業所の見学会なども積極的にいきたい。	・十分に交流を持てるよう活動内容や方法をホームページやブログ等活用し発信する。